



プラットフォーム

可燃粗大ごみ処理状況2



運転員待機場所

奥の部屋は破砕機操作室



破砕機操作室

3名体制(交代)



センター周辺状況

昨年度の豪雨被害、今も復旧が続く



焼却灰の搬出状況

処理後の灰はセメント原料へ



温水配管

市民プールへ移送
(温水は熱媒体として利用)



ごみクレーン

3t程のごみを掴む

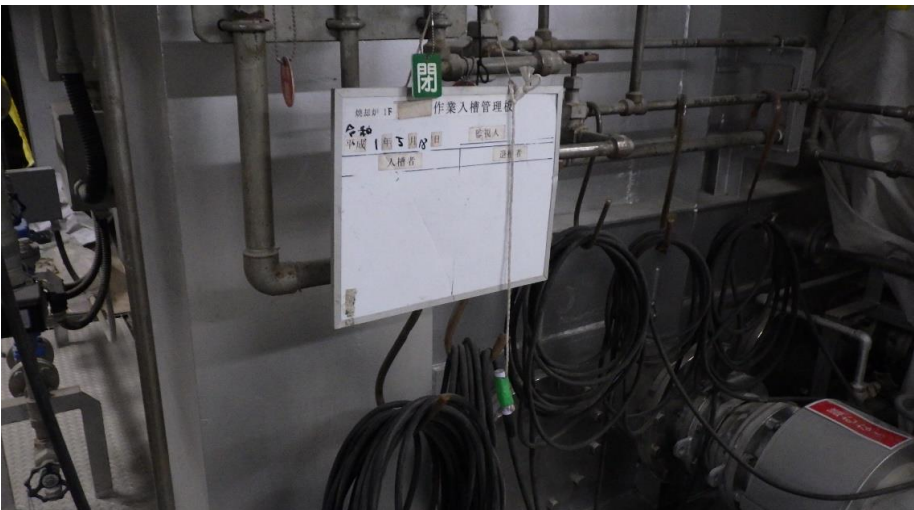
昼間: 有人攪拌作業

夜間: 無人自動攪拌運転



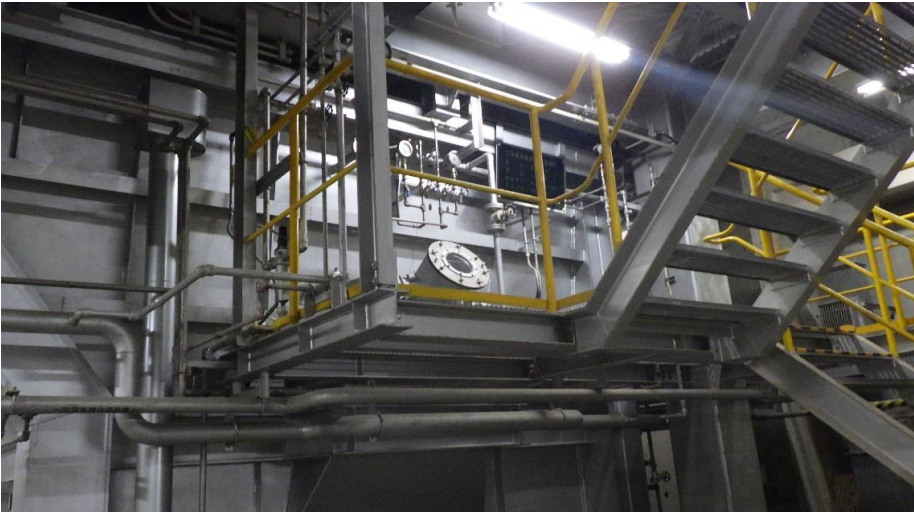
炉室

砂循環エレベーター



炉室内

入室管理



炉室

炉内確認 点検窓



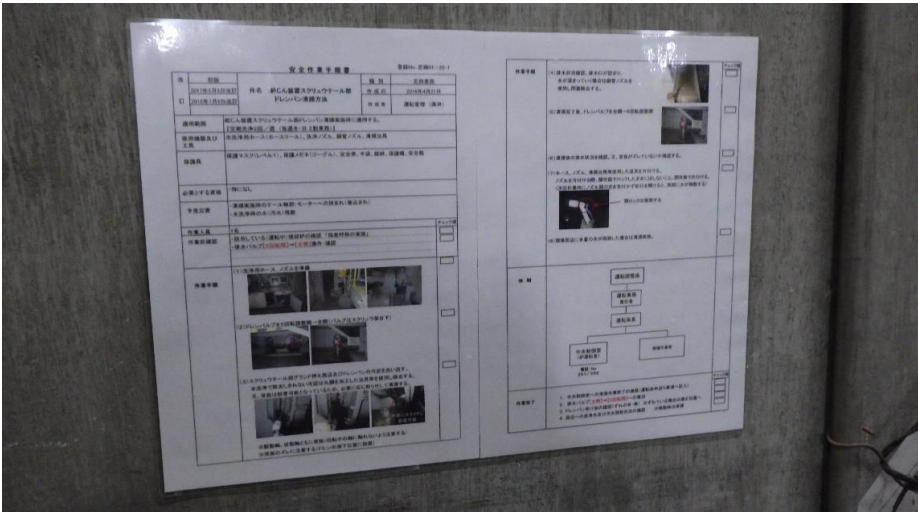
炉室

基幹改良により、H28.3更新



炉室

点検窓はきれいに洗淨され
スタンバイしている



炉室

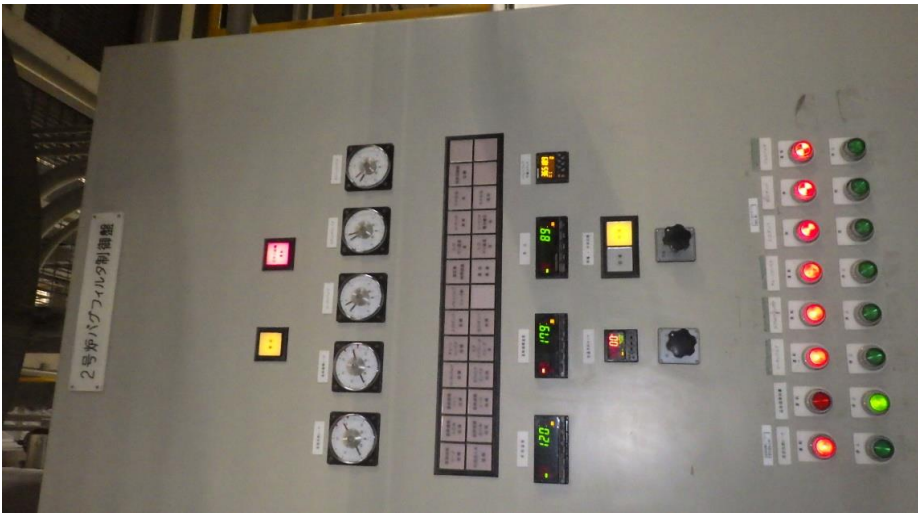
現場に貼られている
「安全作業手順書」



炉室

レーザーO₂計

※炉内のO₂濃度を
リアルタイムで管理



バグフィルター

基幹改良で触媒採用へ
価格は3倍程

